

☆ 森林づくり塾2009 開校

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

森林づくり塾の取り組みについては今年度で3年目となります。参加者は公募を行った結果、函館市近郊から定員の30名となり、森林作業を中心とした全6回の講座を実施しました。各講座の実施内容については、次のとおりです。

1回目	5月24日	峠下国有林	開講式 植樹体験
2回目	6月14日	函館山登山コース	草本類の観察会 森林環境教育講座
3回目	6月28日	カリマ国有林	下刈体験 鎌研ぎ体験
4回目	8月 2日	吉野山国有林	下刈体験 鎌研ぎ体験
5回目	9月 6日	軍川国有林	枝払い・保育間伐体験 森林環境教育講座
6回目	10月 4日	鹿部駒ヶ岳国有林	治山工事箇所見学会 ボランティア教育講座 閉講式

第1回講座

「美しい森林づくりの集いin 七飯ー北海道洞爺湖サミット開催記念植樹祭」に併せて実施し、塾生には植樹（植付）の基礎知識について、体験を通して学習してもらいました。

当日は、塾生含む総勢240名が参加して開催され、面積約1ヘクタールの植樹会場にミズナラ、ブナの苗木約2,000本を一本一本丁寧に植えました。



第2回、第3回講座

第2回は、講師に北海道アウトドアガイドの自然観察指導員 木村マサ子さんを招き「草本類の観察会」を函館山登山コースにおいて実施。また、第3回は、「下刈作業」を実施して、その目的・効果などを学習し、それぞれ心地よい汗を流しました。



第4回、第5回講座

第4回は、前回同様に「下刈作業」を実施し、第5回は、斎藤 晶 樹木医を講師に招き「森林環境教育の基礎講座」を実施するとともに、森林体験としてトドマツ人工林の「枝払い」・「保育間伐」を実施して、その目的・効果を学習しました。



第6回講座

第6回（最終）は、駒ヶ岳（鹿部町）において「治山工事箇所見学会」を実施。また、渡島支庁の方を講師に招き「森林ボランティア基本講座」と題して、森林ボランティア団体の現状や参加の仕方などの講義も実施しました。

最後は、塾を締めくくる閉講式・修了証書の授与を行い、本年度の全講座を終了しました。



☆ 自動撮影装置による野生動物撮影

当センターでは、大沼周辺(七飯町)の森林における野生動物(中大型哺乳類等)の生息調査を実施しています。

- 調査目的・・・野生動物の生息状況を把握することにより、自然環境管理・森林生態系などに活用するため
- 調査方法・・・自動撮影装置(カメラ)による撮影(焦電型赤外線センサーに反応する動物を撮影)
- 調査時期・・・年3回(春、夏、秋)実施



PHOTO



エゾシカ



ニホンテン



ヒグマ

☆ その他 (森林環境教育 等)

🌲 「美しい森林づくりの集い」 植樹祭開催

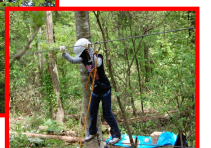
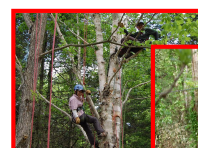
平成21年5月24日(日)、21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会(函館市)と北海道森林管理局 函館事務所主催による「美しい森林づくりの集い in 七飯ー北海道洞爺湖サミット開催記念植樹祭」が、七飯町の峠下国有林2093林班(渡島森林管理署部内)において、保育園児をはじめ、小学生や一般参加者など総勢240名参加のもと開催され、当ふれあいセンターもスタッフとして参加しました。

今回の植樹祭は、昨年7月に開催された北海道洞爺湖サミットにおいて、テーマの一つに「環境・気候変動」が論議され、この中で森林整備は重要な課題と位置づけられたことを受け、その合意内容に鑑み、森林づくり活動を通じた一般市民参加の植樹を計画したとともに、併せてこの場所については、平成16年の台風18号により風倒木被害を受けた箇所となっており、森林の早期回復を願い取り組んだところです。

当日は、ミズナラ、ブナの苗木約2,000本を、面積約1.00ヘクタールの植樹会場に植え、参加者は心地よい汗を流しました。

植樹の後は昼食をとりながらイベント会場において、NPO法人三笠森水遊学舎による「ツリーイング(木登り体験)」や北の森21運動の会による「ポストマンズウォーク(綱渡り体験)」も同時に行われ、参加した小学生達の表情は笑顔にあふれ、また観客からは都度たくさんの拍手が沸き上がり、イベントを盛り上げてくれました。

今日の植樹体験を通じて参加者の方々には、森林の大切さや必要性を理解してもらえることができ、盛会のうちに集いが終了しました。



🌲 「はこだて花の緑のフェスティバル」2009に参加

平成21年6月20日（土）・21日（日）、JR函館駅西口横（大手町）において、『はこだて花と緑のフェスティバル2009』が開催され、当ふれあいセンターはその両日に参加し、森林環境保全ふれあいセンターの活動内容、自然再生モデル事業及び森林環境教育の取組内容、また森林の植物写真を「パネル展示」で紹介したほか、「巣箱作り（木工品）」体験も併せて行いました。

当日は例年にも増して大勢の来場者であふれ、当センターのブースにおいても、パネルを見学して一緒に写真を撮る人や、また、初めて企画した巣箱作り体験においては、用意した60個のキットはあっという間になくなるなど、たくさんの人々で賑わいを見せました。

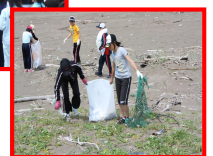
展示したパネルについては、来場者からの難しい？質問に対して、悪戦苦闘しながらも丁寧に説明し、また巣箱づくりに参加した小学生からは、「かなづちを使ってとても楽しかった」などの感想も聞かれ、木材を身近に感じてもらうことができるなど、当センターとしても、人々と交流する中でとても有意義な一日となりました。



🌲 檜山森林管理署（厚沢部町）主催の森林教室をサポート

平成21年6月22日（月）、江差北小学校（全学年約130名）を対象とした、檜山森林管理署主催「春のグリーンスクール」が開催されました。この森林教室は、小学校と檜山署が協定を締結している「遊々の森／砂坂海岸林（通称：なかよしの森）」において毎年2回開催されており、自然とのふれあいの場を通して、動植物の生態や自然認識を深めさせることを目的に始められ、当ふれあいセンターはその講座のサポートを行いました。

実施した内容は海岸林の清掃を行った後、低学年が「フィールドビンゴ」、中学年が「樹木博士認定会」、高学年が「巣箱作り（木工品）体験」とそれぞれ分かれて、各担当者指導のもとに作業を行い、約2時間の行程で実施しました。生徒達は、森の中を歩き様々な発見をしたり、また心地よい風に吹かれながら自然を満喫することができ、有意義な一日を過ごしました。



🌲 渡島東部森づくりセンター主催の講座をサポート

平成21年6月24日（水）、渡島東部森づくりセンター（函館市柳町）主催「森への誘い講座」が、七飯町の樹木博士認定常設コース（西大沼国有林）で開催され、当ふれあいセンターは、フィールドの提供と講座のサポートを行いました。この講座は、森づくりセンターが年間8回の基本講座として行っており、今回はその第3回講座「樹木博士認定会・森づくり体験」をテーマとして実施され、道南を代表するブナや林業用に植栽されているスギなど20種類の樹種について、参加した30名が『認定会』にチャレンジしました。



🌲 北海道渡島支庁主催の講座をサポート

平成21年7月25日（土）、北海道渡島支庁主催「もりとみどりの親子体験ツアー」の講座が、七飯町の軍川国有林（渡島森林管理署部内）において、総勢50名が参加して開催されました。

この講座は、ツアー参加者の森林づくりに対する理解の促進及び意識醸成を図るための体験プログラムとなっており、当ふれあいセンターは、当日実施された枝打ち体験（昭和57年度植栽トドマツ人工林）のサポートを行いました。



🌲 道南ジュニアリーダー「森林教室」の事業をサポート

平成21年7月28日（火）、北海道教育委員会主催、青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」が森町にある北海道立森少年自然の家（ネイパル森）を会場として開催され、当ふれあいセンターは4名の講師を派遣し、講座のサポートを行いました。

午前中は「森林の現況や役割」等について約30分講義した後、場所を軍川国有林（七飯町）に移し、トドマツ人工林の枝払い・保育間伐（除伐Ⅱ類）作業行い、森林内での作業体験を通じ、森林の手入れの必要性及び森林がもたらす公益的機能等について学習しました。午後からは、樹木博士認定常設コース（西大沼国有林／七飯町）において認定会を行い、11種類の樹木について学習し、名前を覚え、時には樹木とふれあいながら、森林と親しんでもらいました。



🌲 しりうち緑の少年団主催「サマーキャンプ事業」をサポート

平成21年8月22日（土）、しりうち緑の少年団（知内町）主催による「サマーキャンプ事業」が、16名参加のもと、北海道立森少年自然の家（森町）を拠点として開催され、当ふれあいセンターは「樹木博士認定会」を行い事業をサポートしました。当日の認定会は、20種類の樹木について説明し、識別試験では最高で15問の正解者がでるなど、それぞれの表情からは達成感や満足感がうかがえました。



🌲 「ふれあいの森」観察会に参加

平成21年9月25日（木）、「大沼の水と緑を守る会」主催の観察会に参加しました。当日は、ふれあいの森箇所のカリマ国有林（七飯町）において、函館植物研究会 工藤氏の指導を受けて、「樹木成育状況見分会」というテーマで約2時間カリマ植苗地を散策しました。参加者達は立派に成長した樹木とふれあいながら、爽やかな汗を流しました。



🌲 児童館の生徒を対象にした森林教室を実施

平成21年10月18日（日）、函館市上湯川児童館主催の親子体験活動（森林について学ぼう）が、樹木博士認定コース（七飯町／西大沼国有林）と大沼国際セミナーハウス（七飯町字大沼）を会場として開催され、当ふれあいセンターは4名の講師を派遣し、活動のサポートを行いました。

この活動は親子で行う体験活動を通して、それまでの生活を振り返り、自分と周囲の人や社会・環境などとの関わりに気づき、よりよい生活を築こうとする態度を養うことをねらいとしており、今回は「森林と環境」をテーマに実施され、当日は園児から小学6年生まで総勢27名の親子の参加がありました。

午前中は樹木博士認定コースにおいて認定会を行い、13種類の樹木について、学習しました。午後からは場所を大沼国際セミナーハウスに移して、木材などを身近に感じてもらうことを目的に、巣箱・クラフト・押し葉（しおり）づくり体験を行いました。巣箱づくりでは、あちこちからトンカチの音が響き渡り、クラフトづくりでは、トチの実や木の枝を使ったみごとなカブトムシを作ったり、また押し葉づくりでは、個性豊かで色鮮やかな作品に仕上がったりと熱心に取り組んでいました。

最後には生徒さんからお礼の言葉を頂き、職員にとっても充実した有意義な一日となりました。



道民ネットワークの集いに参加

平成21年10月24日（土）、道庁赤レンガ庁舎前庭（札幌市中央区）を会場に「道民森づくりネットワークの集い」が開催されました。当センターからは、今年度実施した「大沼地域自然再生等モデル事業」「森林環境教育」などの取り組みについてパネル展示をして、大勢の方々とふれあうことができました。



樹木の冬芽観察会の実施

平成22年3月3日（水）、西大沼国有林（七飯町）樹木博士認定常設コースにおいて、職員（12名）を対象にした樹木の冬芽観察会（勉強会）を実施しました。講師に斎藤 晶 樹木医（函館市在住）を招き、約2時間程度イタヤカエデやトチノキなどの冬芽を観察し、それぞれが実りのある有意義な時間を過ごしました。



組織図 (平成16年4月設置)

林野庁 北海道森林管理局

計画部

指導普及課

森林環境保全
ふれあいセンター

石狩
地域

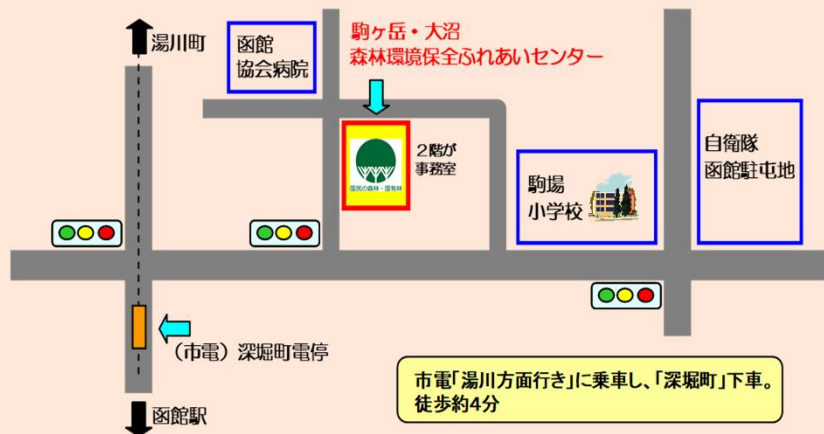
常呂川

(道内4ヶ所)

駒ヶ岳
大沼

釧路
湿原

アクセス



国民の森林・国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局
駒ヶ岳・大沼森林環境保全ふれあいセンター

〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13

TEL 0138-51-0381

FAX 0138-51-8178

E-mail h_koma_f@rinya.maff.go.jp